

第84回日本消化器がん検診学会
関東甲信越支部学地方会

第16回

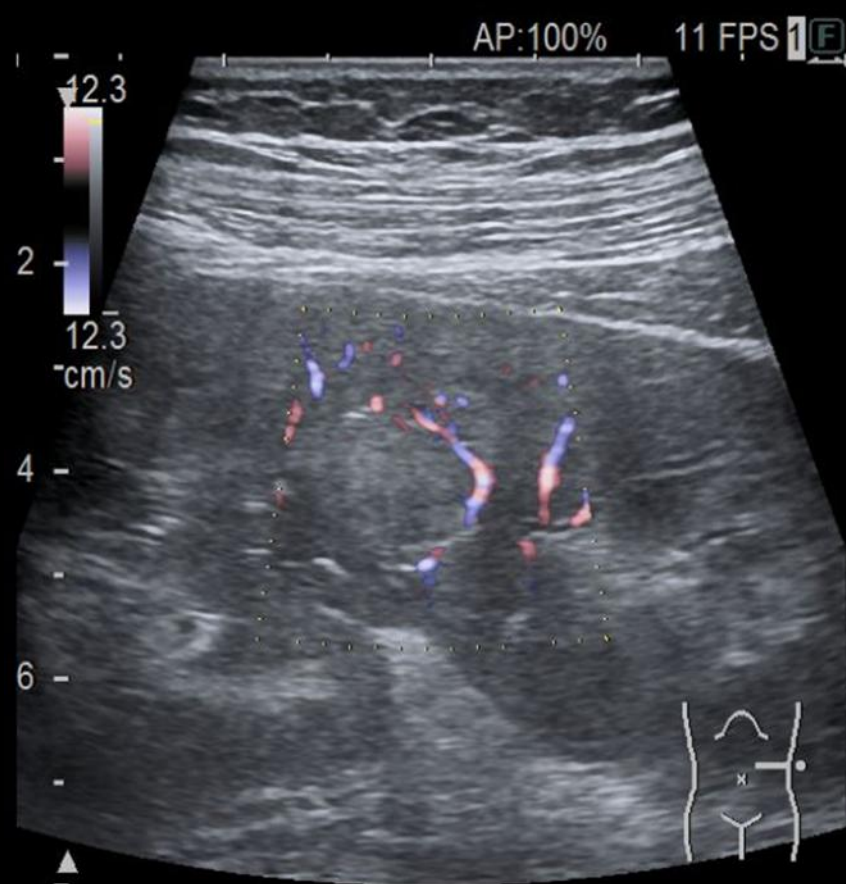
ザ・ベストイメージングコンテスト

2025.8.31
茨城県医師会

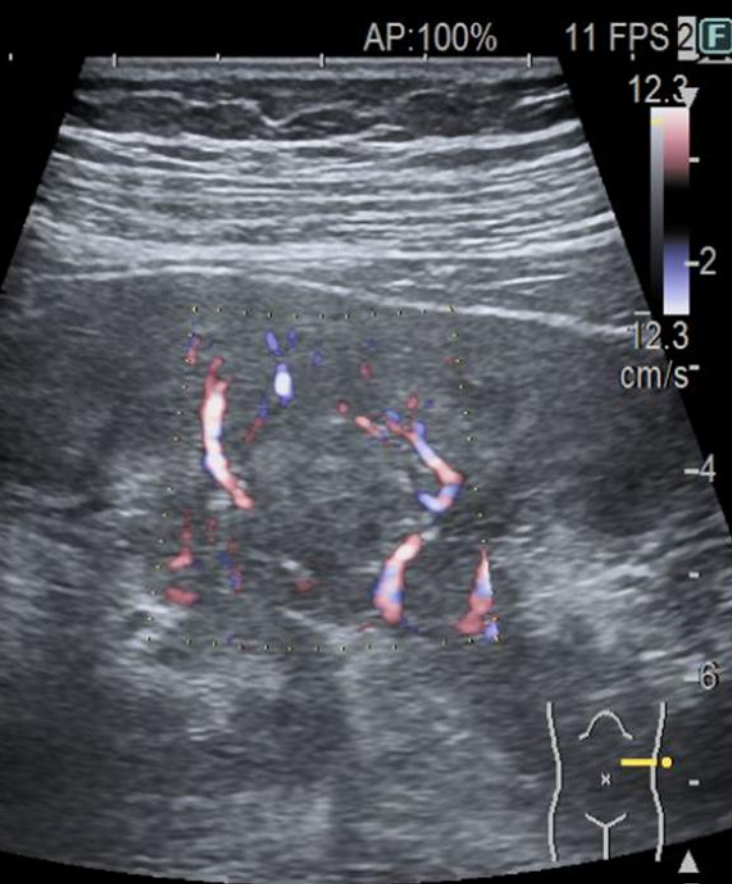
エントリー No 1

- 超音波機種： FUJIFILM ARIETTA 850
- 周波数： 9.0MHz
- 患者： 50歳代 男性
- 診断名： 腎細胞がん
- コメント(術者の一言)

造影CTでも判別が難しかった腎細胞がんの症例です。
境界が不明瞭だったので、高精細カラードプラを使用、
超音波は他のモダリティと比べて、分解能が優れているので、
腫瘍内部の無エコー域がキレイに描出出来ました。



9-2MHz
HdT-8.7Rx R:8.00 BG:71 BD:80
1.0k/3.16MHz CG:64



9-2MHz
HdT-8.7Rx R:8.00 BG:71 BD:80
1.0k/3.16MHz CG:64

Abdo-Linear.
17/17

エントリー No 2

- 超音波機種： FUJIFILM ARIETTA 750
- 周波数： 6.0MHz
- 患者： 30歳代 女性
- 診断名： 遠位胆管（正常例）
- コメント(術者の一言)

研修中です。全受診者に左側臥位で十二指腸まで観察するよう心がけています。

AP:100% 39 FPS 1



6-1MHz
HdT-5.7Rx R:11.0 BG:71 BD:74

Abdomen C252M
857/858

エントリー No 3

- 超音波機種： Canon Aplio i700
- 周波数： 4.0MHz
- 患者： 50歳代 女性
- 診断名： 肝血管腫
- コメント(術者の一言)

肝血管腫のミラーイメージが綺麗に記録できました。

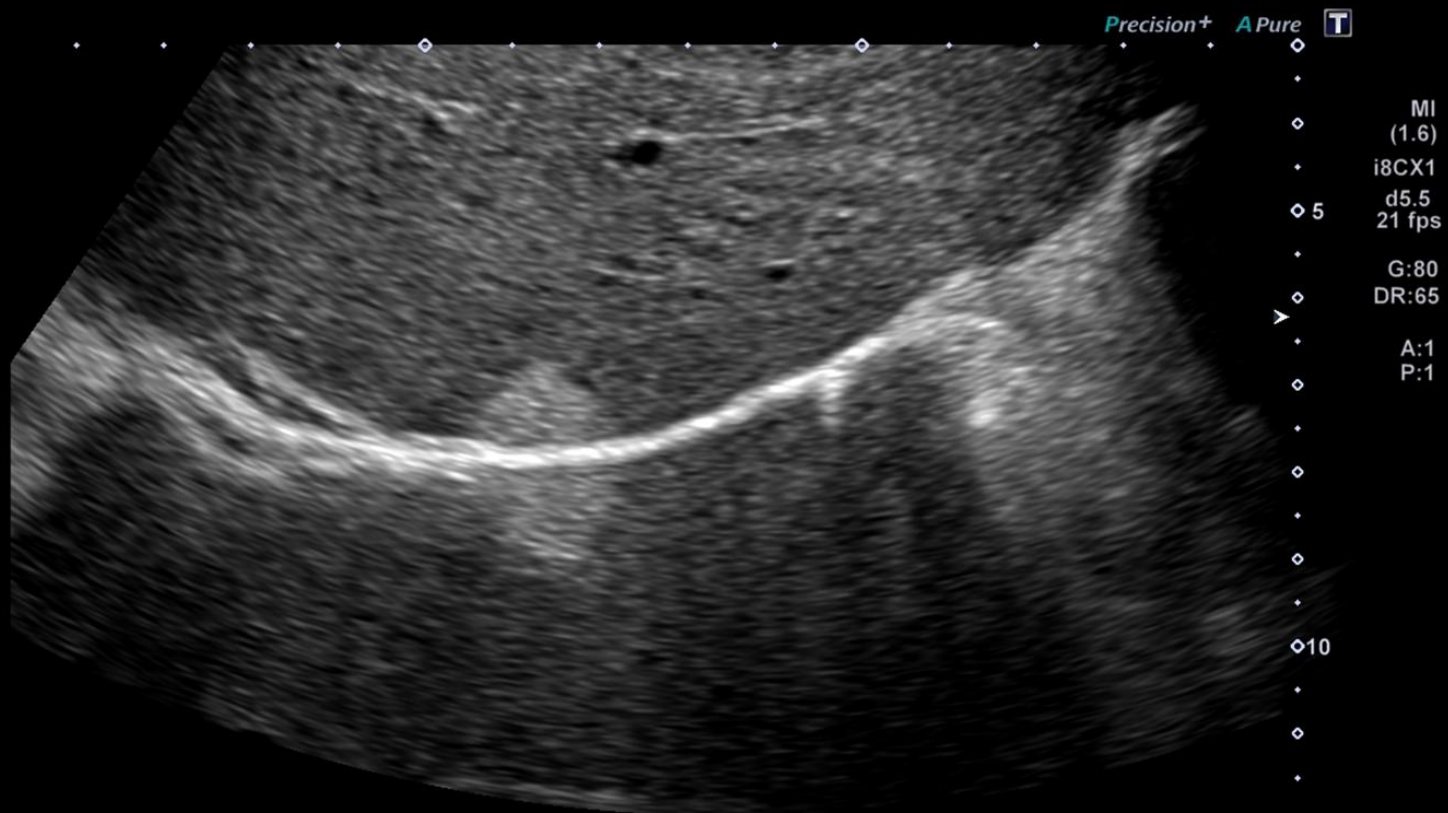
TOSHIBA

Aplio i700

NIHON UNIV.ITABASHI Hp.

Abdomen1

11:18:19 AM



エントリー No 4

- 超音波機種： Canon Aplio 400
- 周波数： 5.0MHz(diffT)
- 患者： 70歳代 男性
- 診断名： 3型進行胃がん疑い
- コメント(術者の一言)

病変は胃体部小弯側で深部に位置しており、仰臥位では周囲構造(周堤部)を含めて正面からの描出が困難であった。そこで、飲水させたのち、右側臥位とすることで病変部を浅部に移動させて視認性を向上させた。

Precision A Pure

T

10C3
diffT6.0
35 fps

G:84
DR:65
A:1
P:1



エントリー No 5

- 超音波機種： GE HealthCare LOGIQ E10
- 周波数： 6.5MHz
- 患者： 80歳代 男性
- 診断名： 肝門部領域胆管癌
- コメント(術者の一言)

肝内胆管の泣き別れを綺麗に描出できました。



LOGIQ



エントリー No 6

- 超音波機種： Canon Xario 200
- 周波数： 3.75MHz
- 患者： 20歳代 女性
- 診断名： SPN(充実性偽乳頭状腫瘍)
- コメント(術者の一言)

あえてスペックの低い機器で記録しました。

条件設定しただいで、ここまで綺麗に腫瘍内部の
充実部分と嚢胞状の混在が描出出来ました！

A Pure Precision

T

Precision A Pure

T

6.1

6.1
cm/s

14L5
T7
16 fps
G:84
DR:60
A:1
P:1

14L5
T7
16 fps
G:84
DR:60
CF 7
CG:35
10.7k
F:3

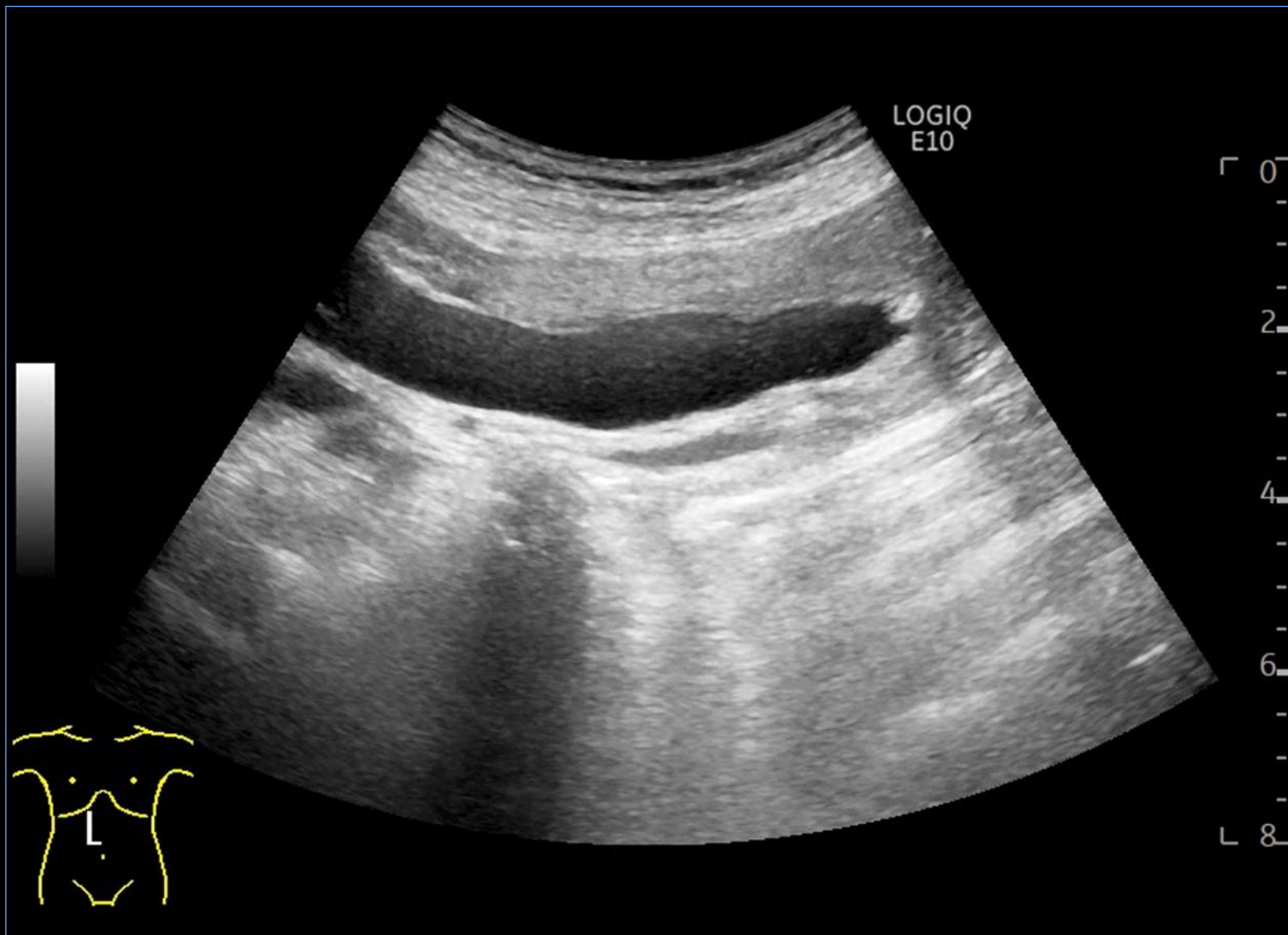
6

26

エントリー No 7

- 超音波機種： GE HealthCare LOGIQ E10
- 周波数： 5.0MHz
- 患者： 70歳代 女性
- 診断名： 総胆管結石
- コメント(術者の一言)

総胆管結石と拡張胆管を同一断面に描出することで説得力のある画像にしました。



エントリー No 8

- 超音波機種： Canon Aplio a Verifia
- 周波数： 5.6MHz
- 患者： 70歳代 男性
- 診断名： 上腸間膜動脈起始部狭窄
- コメント(術者の一言)

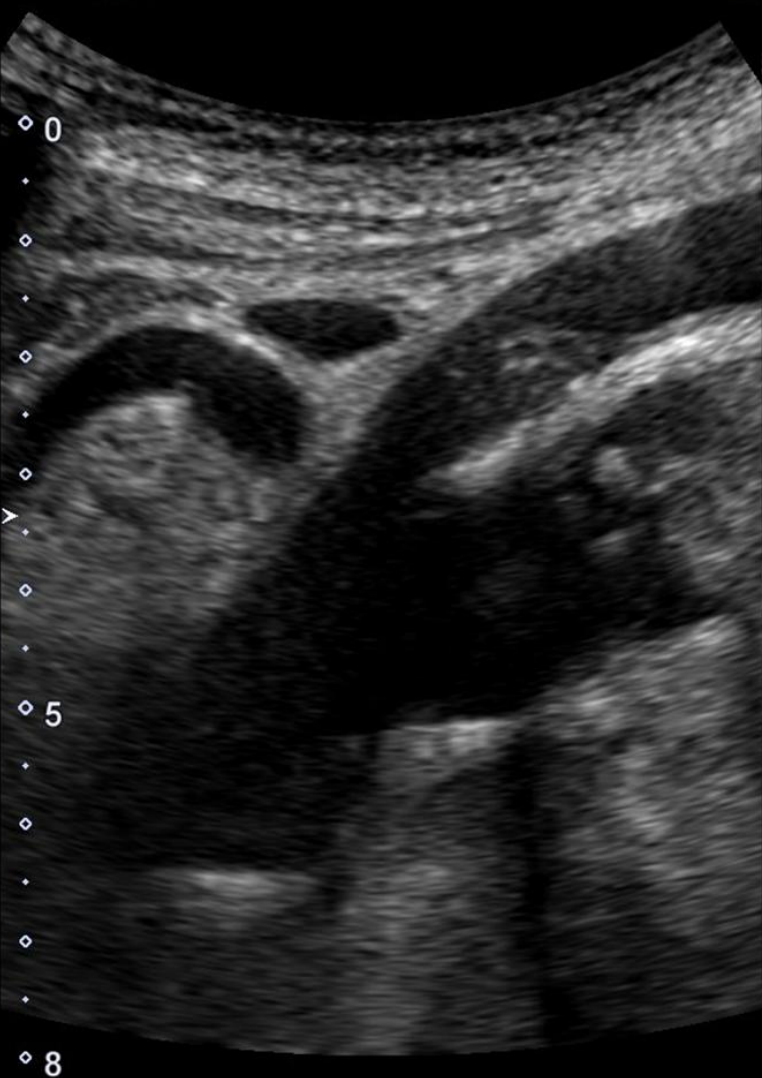
脾臓を観察する際に、上腸間膜動脈、静脈の走行を確認しながら観察します。その際に、上腸間膜動脈起始部にプラークを認めcSMIで評価しました。

A Pure Precision+

T

Precision+ A Pure T

8C1
d5.6
G:72
DR:65
A:1
P:2



1.5

MI
(1.6)
8C1
d5.6
34 fps
G:72
DR:65
SMI 3.5
CG:38
F:4



191

エントリー No 9

- 超音波機種： Canon Aplio i700
- 周波数： 4.0MHz
- 患者： 80歳代 女性
- 診断名： 胆嚢腫瘍
- コメント(術者の一言)

胆嚢結石を体位変換で避けたら広基性腫瘍を発見。

TOSHIBA

Aplio i700

NIHON UNIV.ITABASHI Hp.

Abdomen1

11:41:59 AM

APure Precision+

T

Precision+ APure

T

i8CX1
d5.5

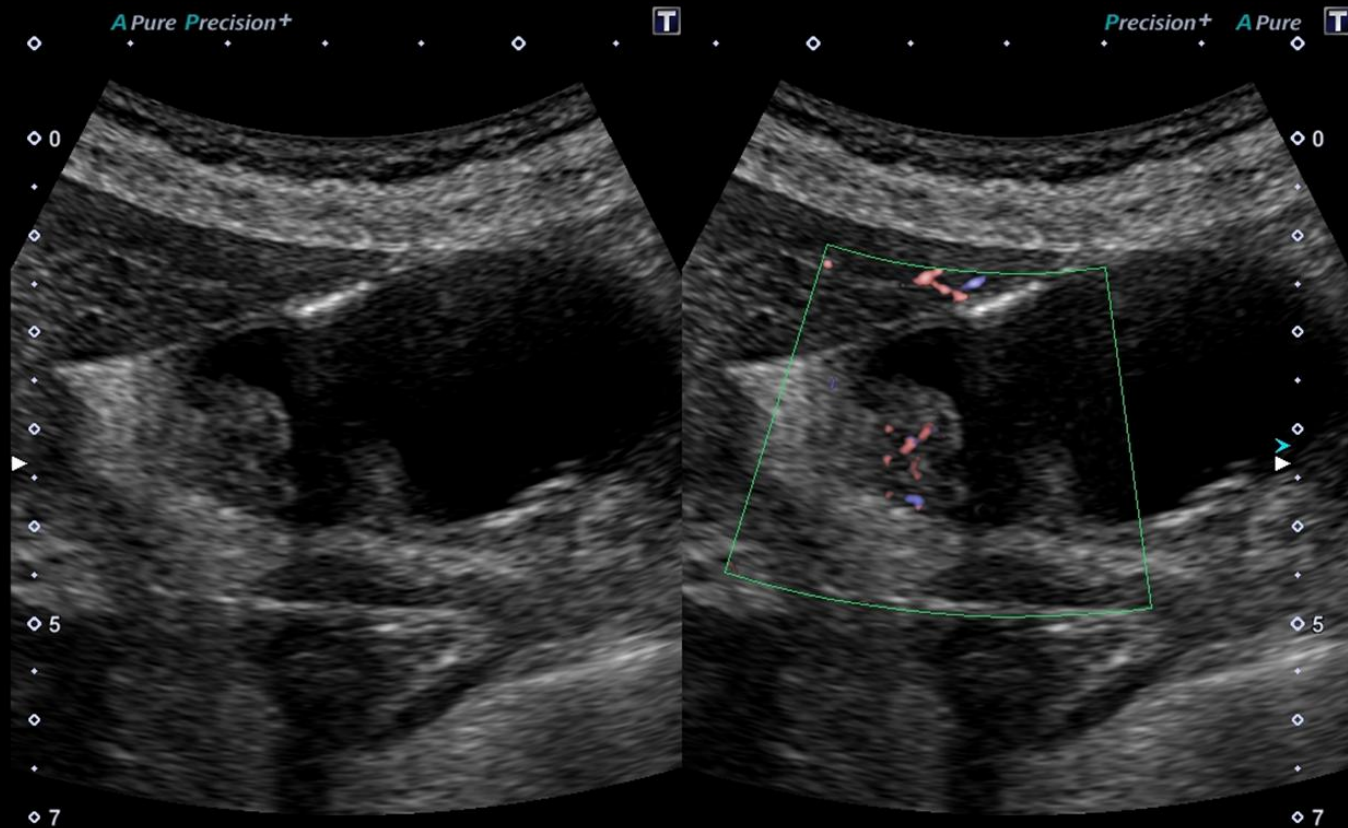
G:80
DR:65

A:1
P:1

2.3
MI
(1.6)
i8CX1
d5.5
55 fps
G:80
DR:65

SMI 3.5
CG:35

F:4



210

エントリー No 10

- 超音波機種： Canon Aplio 300
- 周波数： 4.0MHz
- 患者： 50歳代 男性
- 診断名： 上腸間膜動脈解離
- コメント(術者の一言)

Flapが綺麗に見え解離腔に血流が入りました。

Aplio 300

NIHON UNIV.ITABASHI Hp.

Dr OGAWA 8MHz

9:41:41 AM

Precision+

T

Precision+

T

1.4

6C1
diffT5.0

G:78
DR:65

P:8

6C1
diffT5.0

51 fps

G:78
DR:65

SMI3.0
CG:42

2.0k

F:0

171

エントリー No 11

- 超音波機種： Canon Aplio i700
- 周波数： 8.0MHz(diffT)
- 患者： 80歳代 女性
- 診断名： リンパ増殖性疾患の疑い
- コメント(術者の一言)

HBVキャリアにてフォロー中だったが、今回多発LN腫脹を認めた。ガスによるアーチファクトを減らすために、腹臥位、左側臥位、臥位の順に体位変換しリンパ節を描出できた1例。

Precision+ APure

T

0
MI
(1.4)
i8CX1
d5.5i
22 fps
Qscan
G:78
DR:75

5
A:1
P:1

10

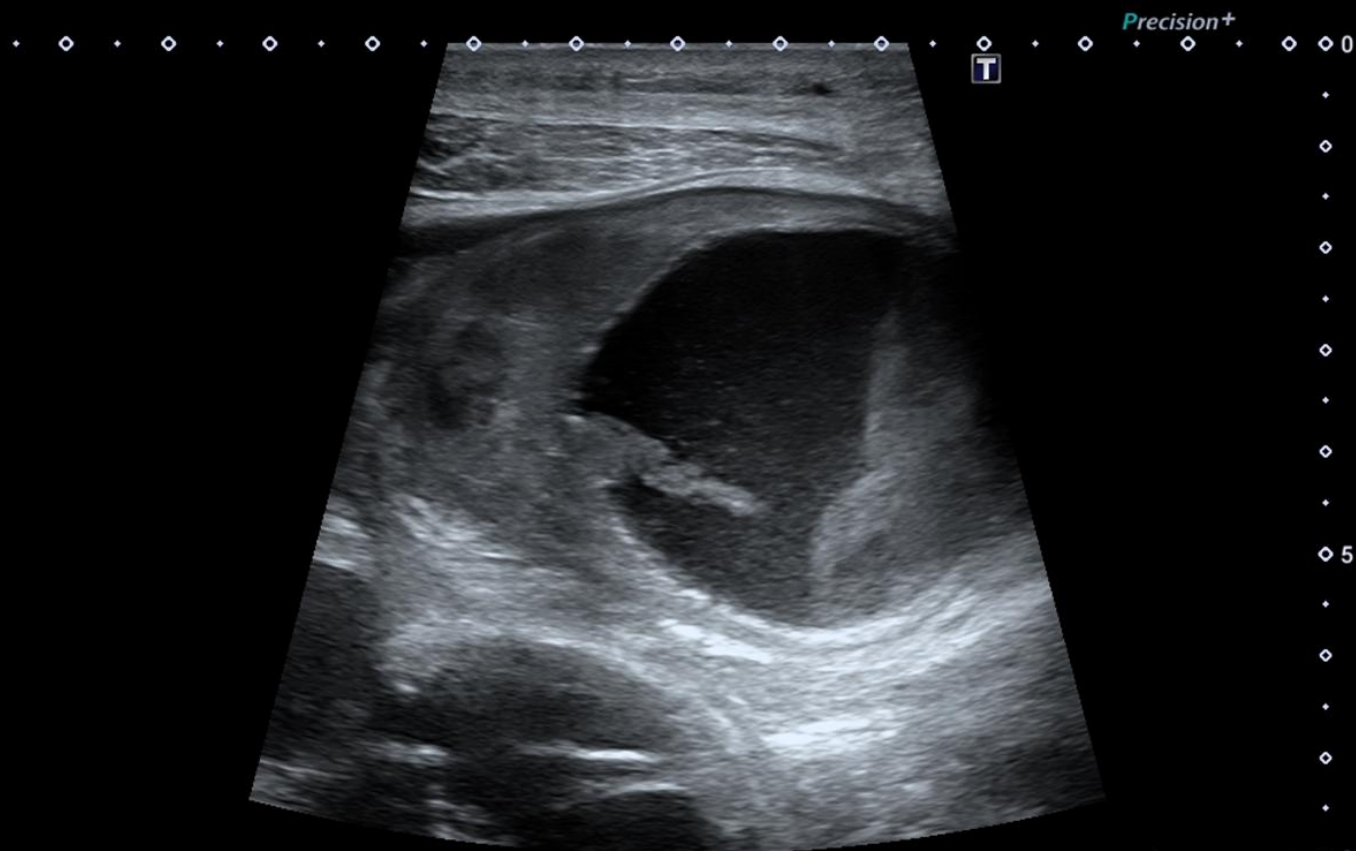
15



エントリー No 12

- 超音波機種： Canon Aplio i700
- 周波数： 16.0MHz
- 患者： 80歳代 男性
- 診断名： 胆嚢穿通疑い
- コメント(術者の一言)

胆嚢粘膜と漿膜間に胆泥と思われる充実エコーが出入りしているのが観察された為、高周波を使い粘膜層の明瞭化、体位変換により胆泥の動きを詳細に表現した。



Precision+

MI
(1.0)
i18LX5
d16i
22 fps
G:84
DR:60

P:3

5

8



エントリー No 13

- 超音波機種： Canon Aplio 400
- 周波数： 8.0MHz
- 患者： 70歳代 女性
- 診断名： 4型進行胃癌
- コメント(術者の一言)

両下肢浮腫が主訴の腹部スクリーニングで胃体部に相当量の胃内残渣を認めた。胃体下部から幽門部まで境界不明瞭で不均一な胃壁肥厚による狭窄が原因と考えたが、これら関係を1枚に表現することが難しかったです。内腔面は平滑で4型進行胃癌を疑いました。

Canon

Aplio 400

Abdomen

Precision A Pure

T

11L4
diffT8.0

22 fps

G:94
DR:55
A:2
P:1

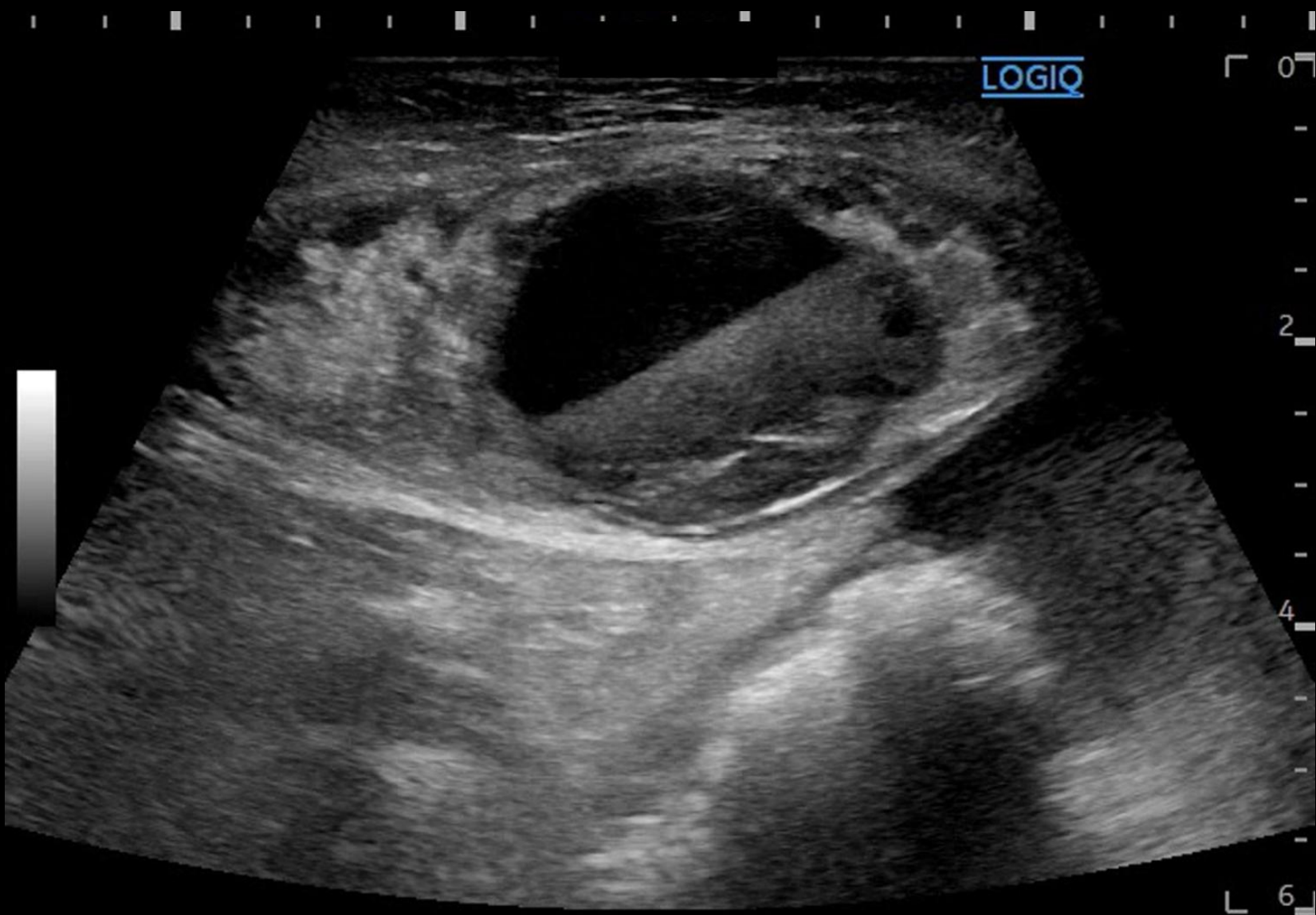


192

エントリー No 14

- 超音波機種： GE Healthcare LOGIQ E10
- 周波数： 9.0MHz
- 患者： 70歳代 女性
- 診断名： 腹壁内血種
- コメント(術者の一言)

腹直筋内にできた血腫ですが、血球成分と血漿成分が分離して綺麗な鏡面形成をしていました。



エントリー No 15

- 超音波機種： Canon Aplio i600
- 周波数： 3.5MHz
- 患者： 50歳代 男性
- 診断名： 充実性偽乳頭状腫瘍
- コメント(術者の一言)

50歳代の男性に、充実性偽乳頭状腫瘍(SPN)を認めました。位置関係と特徴的な卵殻状の石灰化の描出を意識しました。仰臥位、半座位よりも、右側臥位で明瞭に描出されました。

Precision+ A Pure



MI
(1.6)
6C1
d4.0
20 fps
Qscan
G:77
DR:60
A:1
P:1

0

5

10

12



エントリー No 16

- 超音波機種： GE HealthCare Versana Premier
- 周波数： 4.0MHz
- 患者： 70歳代 男性
- 診断名： 総胆管結石
- コメント(術者の一言)

遠位胆管は消化管ガスに妨げられ、なかなか描出できなかった。体位変換や右季肋部からのアプローチを微妙に変えて胆嚢を音響窓にした走査を行い、十二指腸開口部付近の結石を描出することができた。



GE

0 - FR 27
- AO% 100
- CHI
- Frq 4.0
- Gn -2
- S/A 3/3
- Map F/0
- D 12.0
- DR 75
- Whizz On

5 -

10 -

エントリー No 17

- 超音波機種： Canon Aplio i700
- 周波数： 4.0MHz
- 患者： 70歳代 男性
- 診断名： 腎細胞癌
- コメント(術者の一言)

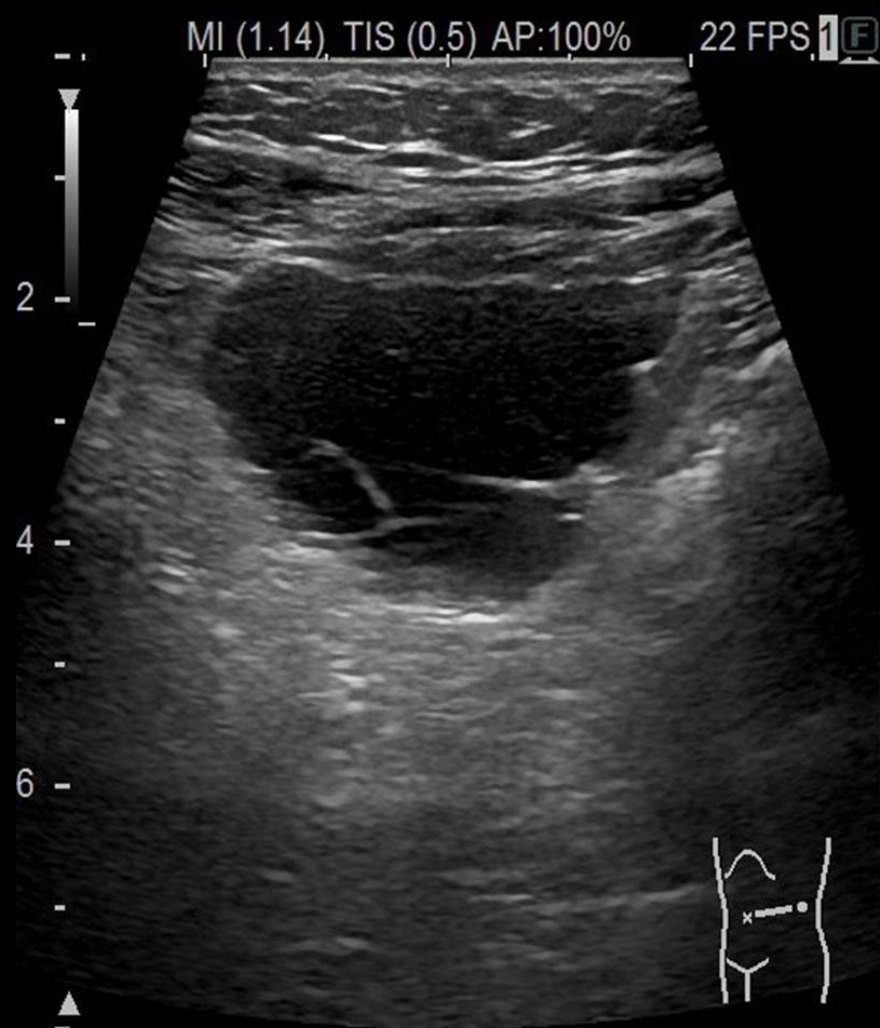
内部低エコー域あり悪性腫瘍らしく記録しました。



エントリー No 18

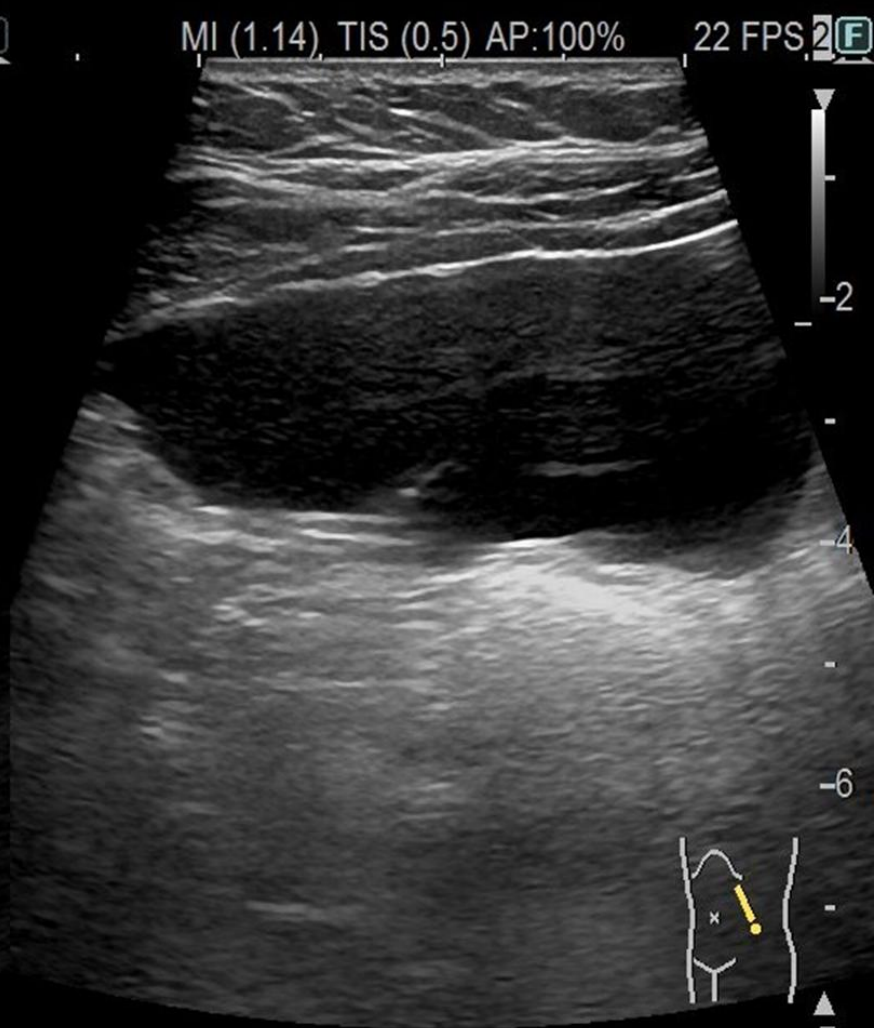
- 超音波機種： FUJIFILM ARIETTA 850
- 周波数： 6.0MHz
- 患者： 40歳代 男性
- 診断名： 腸間膜囊腫
- コメント(術者の一言)

右側臥位での臍観察時に描出した腫瘍です。60mmと大きな腫瘍ですが、仰臥位では描出できませんでした。全検査で臍の観察を右側臥位で施行していたため指摘できた症例です。



12MHz
HdT-11.7Rx R:8.00 BG:58 BD:65

56/57



12MHz
HdT-11.7Rx R:8.00 BG:58 BD:65

Abdomen 12MHz
327/327

エントリー No 19

- 超音波機種： FUJIFILM ARIETTA 850
- 周波数： 6.0MHz
- 患者： 30歳代 女性
- 診断名： 経脾的脾尾部（正常例）
- コメント（術者の一言）

研修中です。全受診者に対し、左肋間からの
脾尾部を観察するよう心がけています。

MI (1.27) TIS (0.7) AP:100% 28 FPS 1



MI (1.27) TIS (0.7) AP:100% 28 FPS 2



Convex 1Dist: 93.4mm Dist: mm ex
HdT-6.0Rx R:13.0 BG:56 BD:78 167/168 HdT-6.0Rx R:13.0 BG:56 BD:78

Abdomen 3.5MHz
730/730

エントリー No 20

- 超音波機種： FUJIFILM ARIETTA 850
- 周波数： 6.0MHz
- 患者： 50歳代 女性
- 診断名： 総胆管結石
- コメント(術者の一言)

総胆管は8mmから4mmへと収束していましたが、その先に結石を認めました。逆くの字を意識し、乳頭部まで追う大切さをしみじみ感じた症例でした。

MI (1.60) TIS (0.7) AP:100% 33 FPS 1

F



Convex
HdT-6.0Rx R:10.0 BG:52 BD:78

Abdomen 3.5MHz
261/270

エントリー No 21

- 超音波機種： Canon Aplio i600
- 周波数： 3.5MHz
- 患者： 50歳代 男性
- 診断名： 腎癌（腎盂腎癌）
- コメント（術者の一言）

多数の隔壁を意識し記録しました。特に厚くなっている部分にフォーカスをあてました。無エコー部分と充実部分のコントラストを描出するのに苦慮しました。



Precision+ A Pure

0

MI
(1.6)

6C1

d4.0

16 fps

Qscan

G:73

DR:60

5

A:1

P:1

10

16



エントリー No 22

- 超音波機種： Canon Aplio a Verifia
- 周波数： 5.6MHz
- 患者： 70歳代 男性
- 診断名： 左腎腫瘍（精査にて腎細胞がん）
- コメント（術者の一言）

左腎下極から突出する約25×24mmの境界明瞭・輪郭平滑な充実性病変を認めます。カラードプラの周波数やゲインを調節し、cSMIでバスケット様パターンを表現しました。

A Pure Precision+

T

Precision+ A Pure T

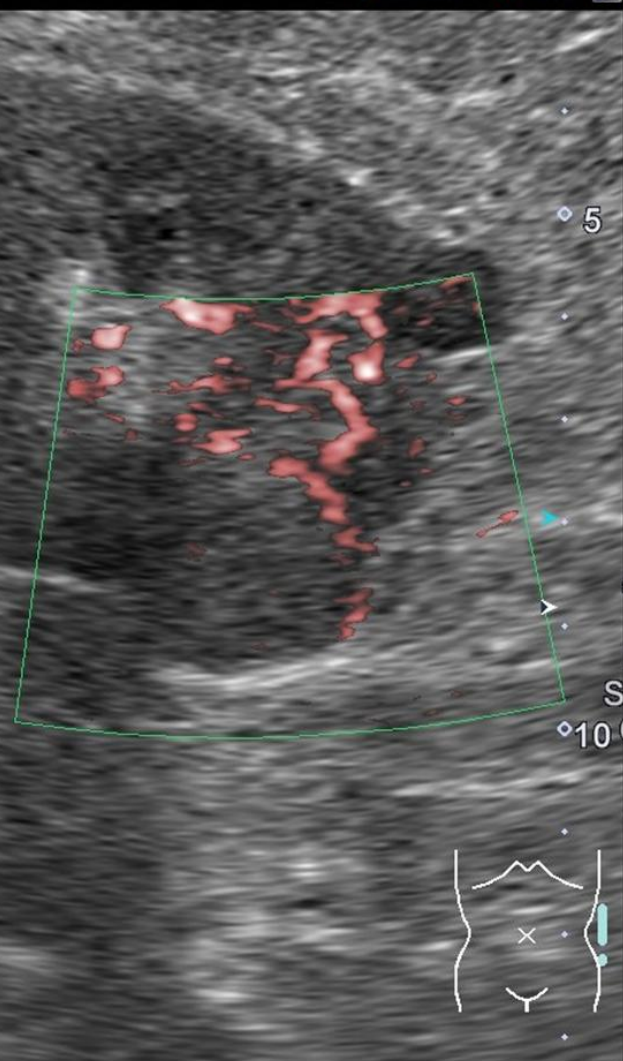
8C1
d5.6
G:76
DR:65
A:1
P:2



1.5



MI
(1.6)
8C1
d5.6
57 fps
G:76
DR:65
SMI 3.0
CG:43
F:4



313

エントリー No 23

- 超音波機種： Canon Aplio i800
- 周波数： 5.0MHz
- 患者： 50歳代 男性
- 診断名： 腎細胞癌
- コメント(術者の一言)

左腎上極の腫瘍は最大径71mmと非常に大きく、全体像の描出には苦慮したが、Super Wide View機能を活用することで、腎実質を含めた腫瘍の全体像を一画面に収めることができた。

Precision+ APure

T

0

5

10

16

MI
(1.2)
i8CX1
d5.0i
17 fps

G:87
DR:70

A:1
P:2



1

エントリー No 24

- 超音波機種： FUJIFILM ARIETTA 750VE
- 周波数： 7.5MHz
- 患者： 60 歳代 男性
- 診断名： 胆管結石
- コメント(術者の一言)

スクリーニング目的の検査にて、遠位胆管末端に結石を認め、十二指腸蠕動運動とともに微動する様子が観察できました。胆管に拡張が無くとも、油断せずにくまなく観察することが肝要だと経験した症例です。

MI (1.03) TIS<(0.4), AP:80% , 26 FPS



-

-

-2

-

-4

-

-6

-

-8

-



6-1MHz

HdT-2.5R

R:9.00 BG:52 BD:75

Abdomen C253

1/1

エントリー No 25

- 超音波機種： Canon Aplio a Verifia
- 周波数： 5.0MHz
- 患者： 70歳代 男性
- 診断名： 下大静脈腫瘍塞栓右房進展
(+右腎細胞癌+肝転移)
- コメント(術者の一言)

患者は呼吸調整困難で下大静脈が最大に膨らんだ時と心拍動でブレていない瞬間が難しく感じた。下大静脈から右房へ入る腫瘍塞栓が少し斜めで長軸方向に合わせて写真を撮りました。右房側へ進展した部分は可動性がありました。

Canon

Aplio a

Abdomen1

Precision+ A Pure

T

MI
(1.4)
6C1
d5.1
17 fps
G:80
DR:65
A:2
P:2

0

5

10

14



70

エントリー No 26

- 超音波機種： Canon Aplio 300
- 周波数： 8.0MHz
- 患者： 50歳代 男性
- 診断名： 胆嚢腺筋腫症（悪性所見認めず）
- コメント（術者の一言）

全周性の胆嚢壁肥厚を認めました。内腔の虚脱や最内側高エコーの肥厚を認めましたが、内膜面の不整は認めず、RASを疑う小嚢胞を認め、第一に胆嚢腺筋症を疑いました。いつもリニアでの詳細な観察を心がけています。

A Pure Precision

T

Precision A Pure

T

0
1
2
3
4

11L4
diffT8.0
27 fps
G:88
DR:65
A:2
P:1

0
1
2
3
4

11L4
diffT8.0
27 fps
G:88
DR:65
A:2
P:1

194

140

エントリー No 27

- 超音波機種： Canon Aplio XG
- 周波数： 8.0MHz(diffT)
- 患者： 40歳代 女性
- 診断名： SCN
- コメント(術者の一言)

右側臥位の左肋間走査にて膈体尾部を浅い位置に描出し、高周波探触子にて観察を行った。小嚢胞が蜂巢状に集族する様子を描出できた1例。



0 ◆

2 ◆▶

4 ◆

T

MI: (1.6)

Qscan

95

DR

60

12L5
diffT8.0

42 fps



cm

エントリー No 28

- 超音波機種： Canon Aplio i600
- 周波数： 3.5MHz
- 患者： 40歳代 男性
- 診断名： 胆嚢癌（肝直接浸潤）
- コメント（術者の一言）

胆嚢底部壁の断裂像と連続する肝内の腫瘍像を同時に描出するよう意識しました。



Precision+ APure

MI
(1.6)
6C1
d4.0
22 fps
Qscan
G:76
DR:60

A:1
P:1

5

10



19

エントリー No 29

- 超音波機種： GE HealthCare LOGIQ E10
- 周波数： 9.0MHz
- 患者： 60歳代 男性
- 診断名： 胆泥による肝外胆管の閉塞
- コメント(術者の一言)

左側臥位で、沈殿して鏡面形成している胆泥を綺麗に描出できました。



エントリー No 30

- 超音波機種： Canon Aplio a Verifia
- 周波数： 5.6MHz
- 患者： 50歳代 男性
- 診断名： 両腎尿管結石
- コメント(術者の一言)

両腎に水腎症を認めました。仰臥位観察では、尿管内に閉塞起点は確認できず、膀胱内に明らかな腫瘤も認めませんでした。閉塞起点を確認すべく 体位変換を実施し、腹臥位観察にて両尿管内に結石が観察できた症例でした。

Qscan Precision+ A Pure

T

0

5

10

15

MI
(1.6)
8C1
d5.6
15 fps

G:72
DR:65
A:1
P:2



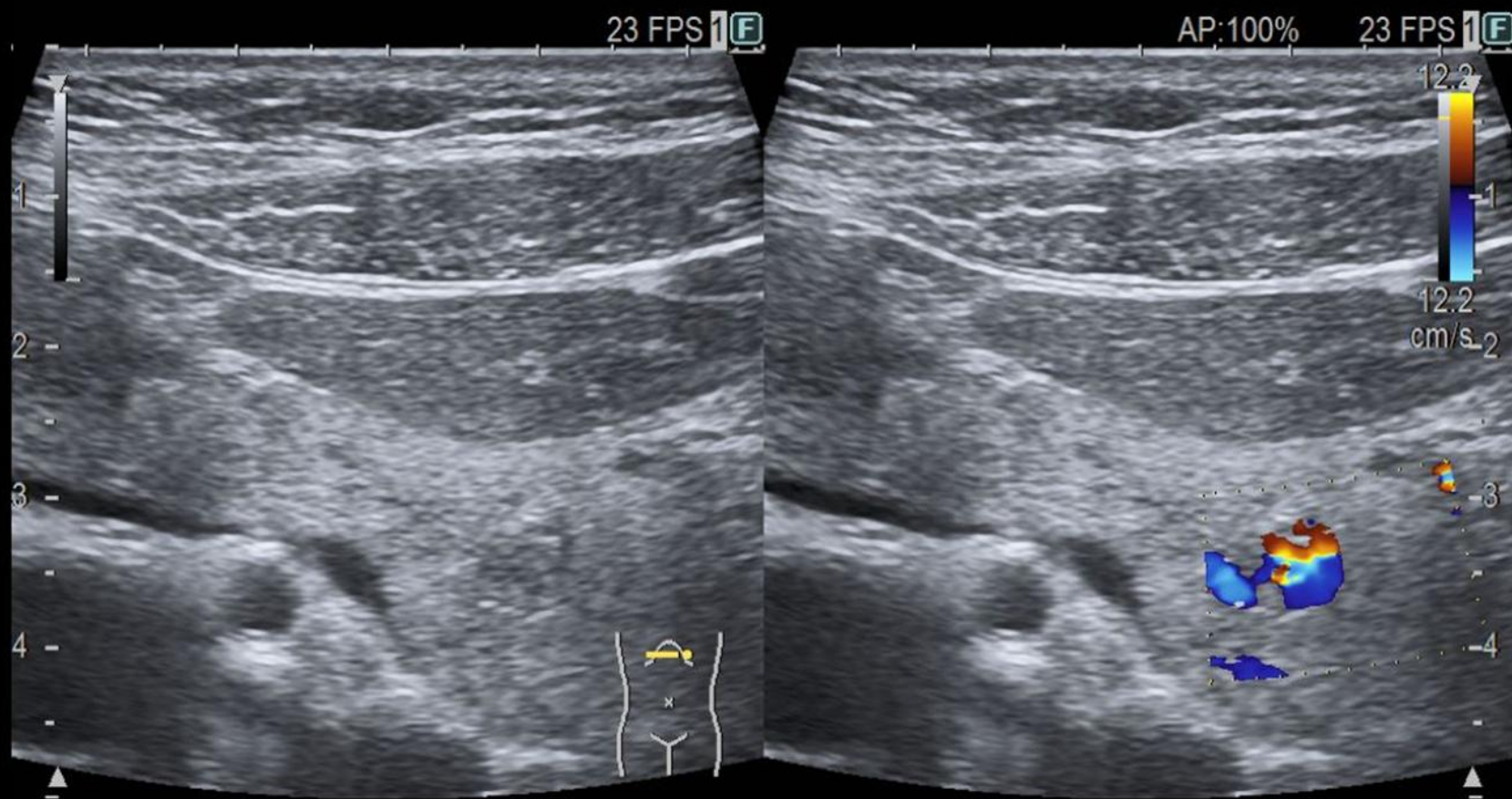
98

エントリー No 31

- 超音波機種： FUJIFILM ARIETTA 850
- 周波数： 6.0MHz
- 患者： 30歳代 女性
- 診断名：脾動脈瘤
- コメント(術者の一言)

カラードプラを使用してびっくり！

脾動脈からの連続性した瘤形成がキレイに描出が出来ました。



9-2MHz
HdT-8.7Rx R:5.00 BG:75 BD:80

385/386

9-2MHz
HdT-8.7Rx R:5.00 BG:75 BD:80
1.0k/3.16MHz CG:70

Abdo-Linear.
385/386

エントリー No 32

- 超音波機種： Canon Aplio i700
- 周波数： 7.0MHz
- 患者： 70歳代 男性
- 診断名： 胆嚢腺筋腫症
- コメント(術者の一言)

体表に近い浅い部位に胆嚢が存在したため、
高周波探触子にて観察を行った。

RASを明瞭に描出できた1例。

Precision+ APure 0

T

MI
(1.0)
i11LX3
d7.0
19 fps
Qscan
G:84
DR:60
A:1
P:3

5

10



エントリー No 33

- 超音波機種： Canon Aplio i700
- 周波数： 5.5MHz
- 患者： 70歳代 女性
- 診断名： 膵嚢胞
- コメント(術者の一言)

膵嚢胞が複数ある方。体位変換を利用しながら腹腔内ガス避けながら観察をした。この画像は最初左側臥位で観察したが、うまく描出できなかったため、仰臥位方向に45度戻してガスの隙間から観察をした。

Precision+ A Pure

T

0 MI
(1.6)
i8CX1
d5.5i
25 fps
Qscan
G:79
DR:75

A:1
P:1

5

10

12



MB

エントリー No 34

- 超音波機種： Canon Aplio 300
- 周波数： 5.0MHz
- 患者： 40歳代 男性
- 診断名： P-Vシャント
- コメント(術者の一言)

左肝静脈と門脈枝との合流部がきれいに描出できました。肝臓観察時は見落としのないよう端から端までしっかりと観察するよう心がけています。

A Pure Precision

T

Precision A Pure

T

11.7

6C1
diffT5.0
10 fps
G:80
DR:65
A:2
P:1

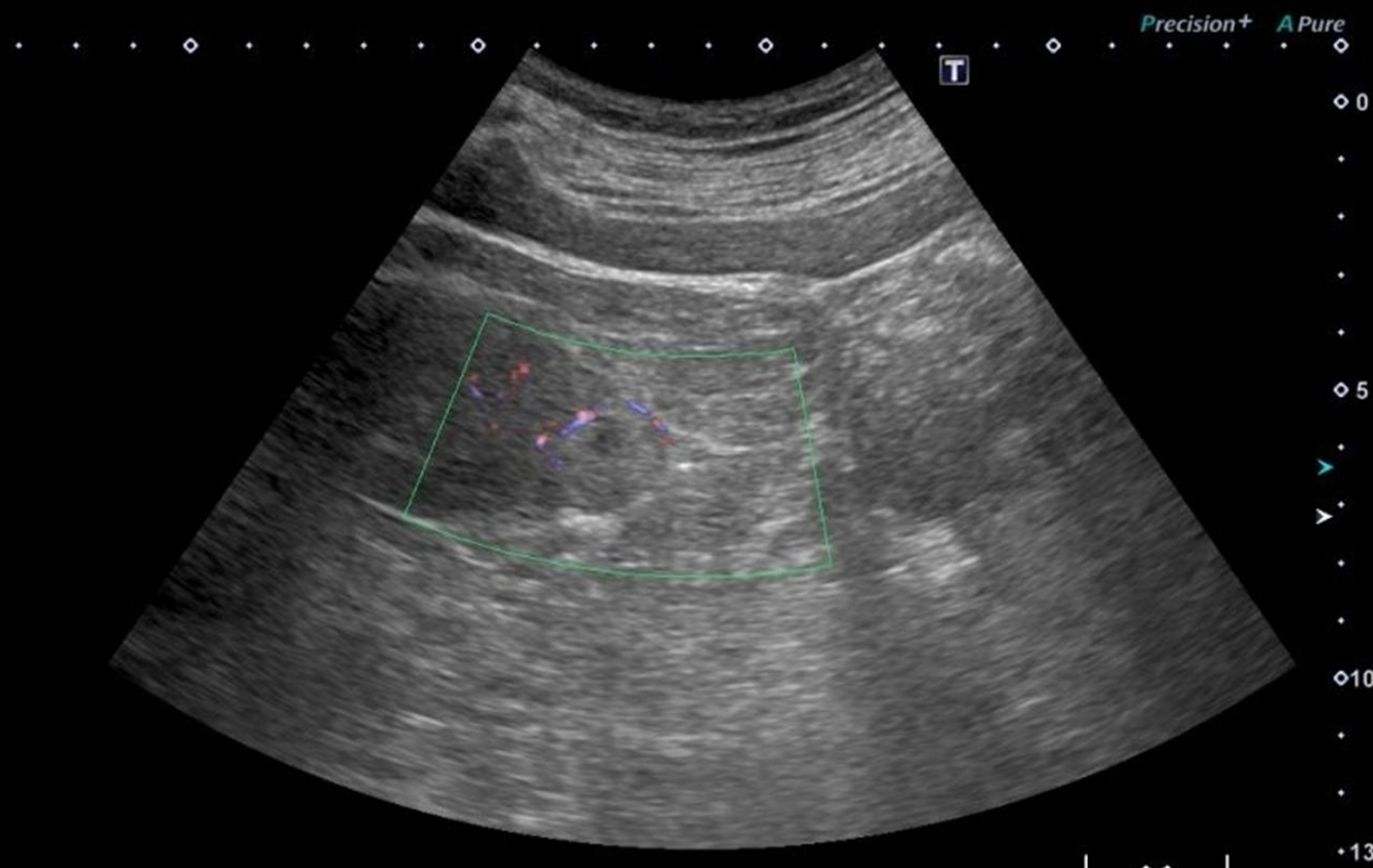
6C1
diffT5.0
10 fps
G:80
DR:65
DF 2.0
CG:19
7.9k
F:3

102

エントリー No 35

- 超音波機種： Canon Aplio i600
- 周波数： 5.0MHz
- 患者： 50歳代 男性
- 診断名： 腎細胞癌
- コメント(術者の一言)

検診での腹部超音波検査で検出率が高い腎細胞癌に遭遇しました。腎臓から突出する腫瘍にフォーカスを合わせ、ADFで血流を確認したところ腫瘍を囲うような血流を捉えられたため腎細胞癌と確信した所見でした。



11.1
MI
(1.6)
6C1
d5.0
12 fps
G:84
DR:70
DF 3.0
CG:40
F:2



エントリー No 36

- 超音波機種： Canon Aplio i700
- 周波数： 3.5MHz
- 患者： 50歳代 女性
- 診断名： 下行結腸憩室穿孔
- コメント(術者の一言)

結腸憩室の小さな穿孔部を特定しました。

穿孔部を鮮明に描出でき、穿孔周囲の脂肪組織への炎症波及も確認できる画像です。

A Pure Precision+

T

Precision+ A Pure T

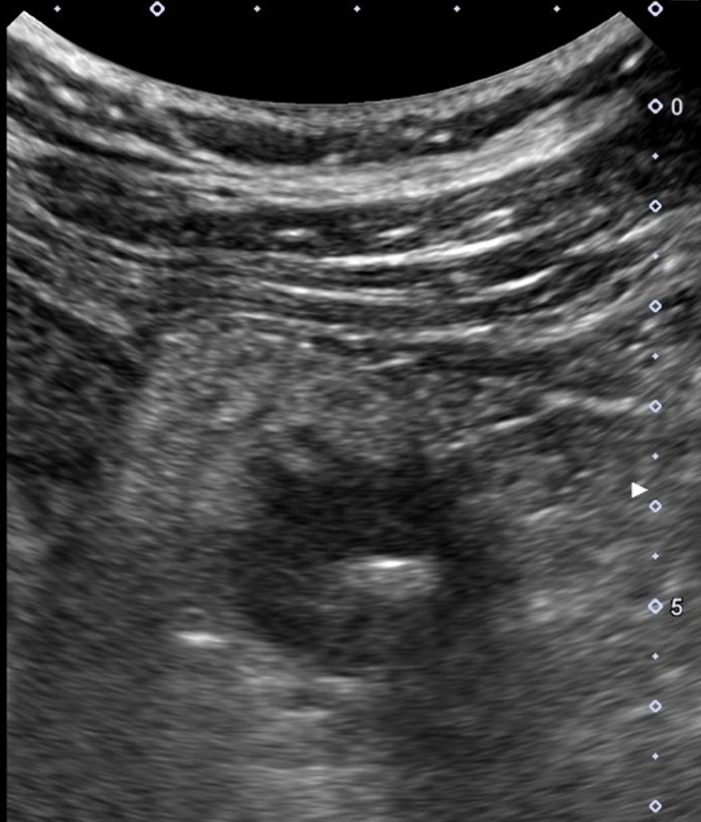
MI
(1.5)
i8CX1
d5.8
15 fps
Qscan
G:80
DR:65

A:1
P:1



MI
(1.6)
i8CX1
d5.8
15 fps
Qscan
G:80
DR:65

A:1
P:1



エントリー No 37

- 超音波機種： Canon Aplio i700
- 周波数： 7.0MHz
- 患者： 80歳代 男性
- 診断名： 急性胆嚢炎
- コメント(術者の一言)

高周波探触子にて観察を行った。

胆嚢壁の3層構造を明瞭に描出できた。

Precision+ APure 0

T

MI
(1.1)
i11LX3
d7.0
21 fps
Qscan
G:82
DR:60
A:1
P:3

5

9



エントリー No 38

- 超音波機種： Canon Aplio i700
- 周波数： 5.5MHz(diffT)
- 患者： 70歳代 男性
- 診断名： 小腸閉塞疑い
- コメント(術者の一言)

入院中に前立腺がん疑いにてUS依頼となった方で、小腸の拡張と内腔に腸管液の貯留を認めたため小腸閉塞を疑い主治医に連絡。CTにて精査になり、小腸癒着を閉塞機転としたmechanical small bowel obstructionの診断となった。

T

◇ 0 MI
(1.1)
i8CX1
d5.5i
26 fps
G:83
DR:75
A:1
P:1

◇ 5

◇

• 11



エントリー No 39

- 超音波機種： FUJIFILM ARIETTA 850
- 周波数： 6.0MHz
- 患者： 20歳代 男性
- 診断名： 脾内副脾
- コメント(術者の一言)

脾尾部内にエコーレベルが脾臓と同等の充実性病変を認めました。脾臓が音響窓となって内部の構造が明瞭に描出されました！

13 FPS 1



AP:100%

13 FPS 1



12.3

12.3

cm/s

-10

-15

6-1MHz

HdT-5.9Rx R:17.0 BG:59 BD:70

105/106

6-1MHz

HdT-5.9Rx R:17.0 BG:59 BD:70

0.8k/2.50MHz

CG:40

Abdomen T-DI

105/106

エントリー No 40

- 超音波機種： GE HealthCare LOGIQ E9
- 周波数： 9.0MHz
- 患者： 60歳代 女性
- 診断名： S状結腸脂肪腫、腸重積
- コメント(術者の一言)

S状結腸の有茎性の脂肪腫が先進部となり、腸重積を発症している様子を綺麗に捉えることができました。

LOGIQ
E9

FR 40

CHI

Frq 9.0

Gn 47

S/A 1/1

Map F/0

2-D 8.0

DR 63

AO% 100

4"

6"

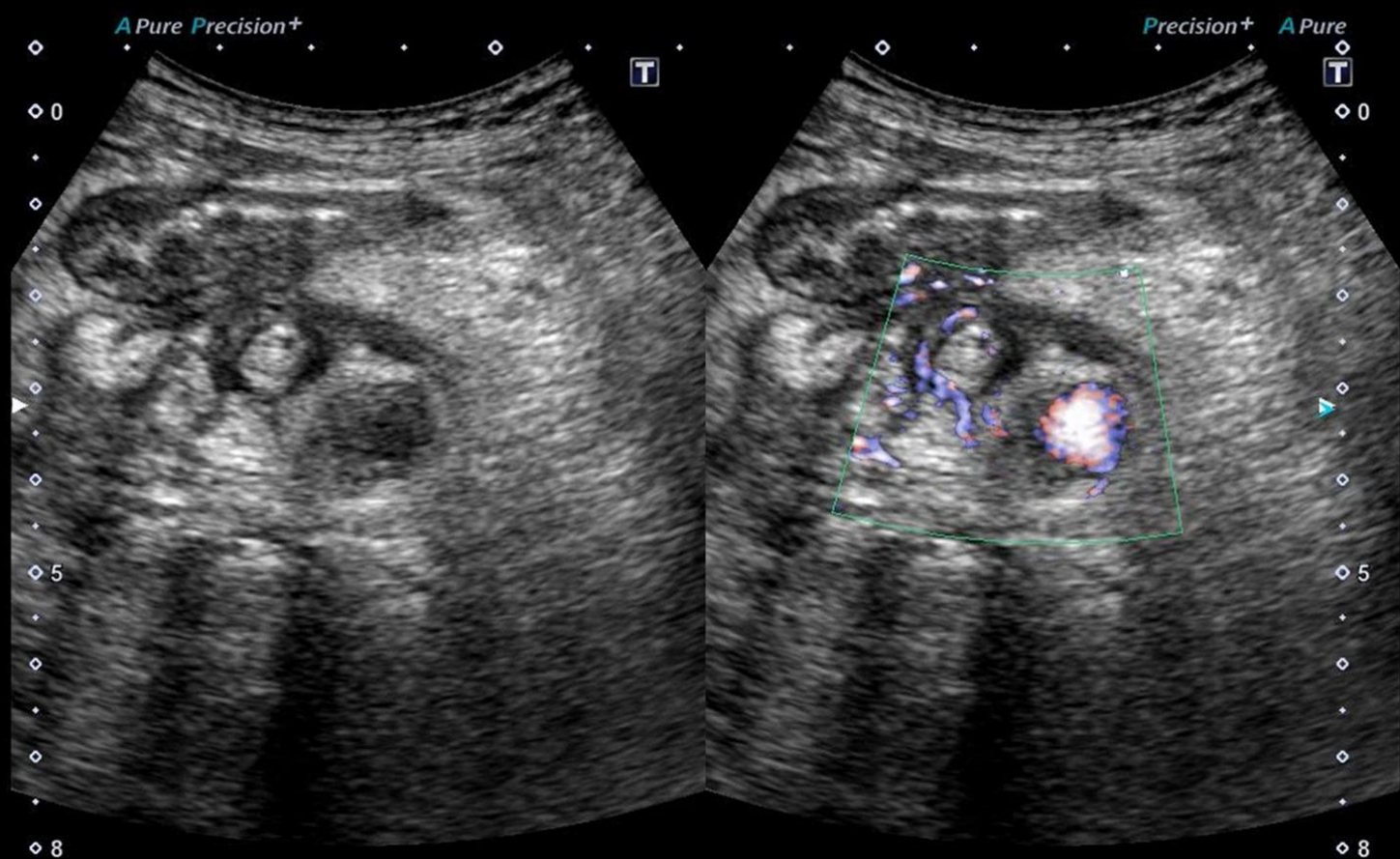
8"



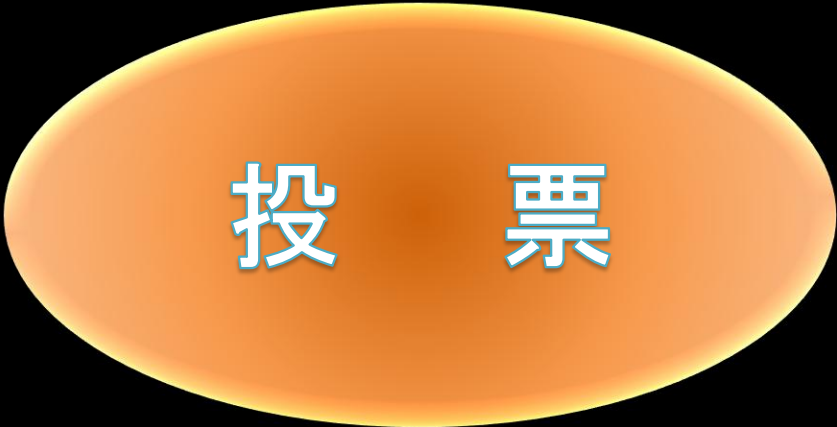
エントリー No 41

- 超音波機種： Canon Aplio i800
- 周波数： 5.0MHz
- 患者： 50歳代 男性
- 診断名： 虫垂炎により形成された動脈瘤
- コメント(術者の一言)

虫垂近傍に嚢胞性腫瘤を認め炎症による仮性嚢胞を考えたが内部が完全な無エコーではなく違和感があった。SMIで拍動する乱流を認め動脈瘤と診断した。プローブをゆっくり振る事で微細血管との連続性も確認できた。



投票はこちらからお願いします。

A large, orange, horizontally-oriented oval button with a slight gradient and a soft shadow, centered on the page.

投 票